



■■■ 朝の玄関前検温をお休みします 22日～ ■■■

◆通常登校が始まっての先週は、A班、B班による時間差登校を実施して、朝の玄関前検温を徹底させていただきました。ご協力大変ありがとうございました。お陰様で、教室に入る前に有熱児童への適切な対応もできました。とりあえずは、先週1週間の状況が「群馬県警戒度1」であったことや発熱等の欠席数も1桁台で急激な増加も見られなかったこともあり、メール配信と



通知文でお知らせしたとおり、本日より登校時の玄関前での検温をお休みします。ただし、教室での「検温」とともに「健康観察シート」のチェックについては、お知らせのとおり継続しますので、家庭での毎朝の検温は続け、持参させてください。よろしくお願いします。繰り返しになりますが、朝の体温が37℃以上だった場合には、登校を控え、静養し、必要があれば医者を受診するよう重ねてお願いいたします。

◆上記については、警戒度1である状況下での対応ですので、今後、警戒解除になれば、対応は更に緩和されると考えられます。反対に、県内外の感染者が増加し、第2波の恐れから、警戒度2や3に戻すことも考えられます。その際には、朝の玄関前の検温も再開し、ご家庭へのご協力をお願いする場合もあることを申し添えます。悪い状況にならないことを祈るばかりです。



1学期の学習評価等について



■「新年度になり新型コロナウイルス拡大防止対策で5月末日まで休校措置となったこと。」「各教科等の実施時数が削減されたこと。」「6月最初の2週間が分散登校で先週からやっと通常登校になったばかりで、担任の先生は改めて学級づくりに取り組み始め、専科の先生も含めて、これまでできなかった授業を行っている真っ最中であること。」「新学期2ヶ月間の遅れは、子ども達の良さや課題等の把握が十分にできていないことに重ね、年度当初に実施する学習内容も実際に始まったばかりであること。」「このままの状態、通知票「さいかち」のそれぞれの評価を中途半端にすることはできないこと。」「単に学校が再開された後の生活面での頑張る様子だけを「学校の様子」の担任所見に記したとしても、十分に成長を伝えられないこと。」「1学期の最終日の7月31日までは、できる限り教育活動に向き合うこと。」「以上のことについて、職員会議で時間をかけて意見を交わし、考えを共通理解した結果、1学期末の通知票「さいかち」については、「紙面として出さない」としました。コロナ対応の苦肉の策ですので、ご理解のほどよろしくお願いします。(通知文は17日に配布済みです)

ただし、担任や専科の先生は、これまでの短い期間での子ども達1人ひとりの努力や成長、課題等について、できているところまでをきちんと評価し、2学期への確実な評価につなげられるように蓄積し、準備をしています。このことについてもご理解いただければ幸いです。

■また、1学期中の「学級懇談会」や「家庭訪問」がコロナ対応で実施できず、担任と保護者の皆さんとの話し合いや懇談、会話が十分にされていない現状を少しでも改善するために、担任と保護者両者ともでお子さんを話題とした話し合う機会(二者面談)を設けることもお伝えしたところです。8月3日の週で実施を予定しています。日程・時間帯の詳細とともに、兄弟姉妹関係の実施日、時間等の調整を含めて希望調査をしますので、よろしくお願いします。





体育や音楽の授業の様子は ♪♪♪♪



間隔をしっかりとって
準備体操をします

【体育】体育の授業については、接触が多い運動、消毒ができない用具等を介しての間接接触がある運動などは、現状では授業で取り組みません。個々がそれぞれに運動する種目を中心に取り組み始めています。準備体操やラジオ体操、短縄跳び、ランニング、ハードル、50m走、鉄棒、サーキット運動、ダンス、柔軟ストレッチ等々。先生も内容の工夫が大変です。熱中症対策もしながら、子ども達に運動を課す難しさも。長期の休業で体力が落ちていることも確かです。少しずつ環境の変化に体を慣らすことが大事です。楽しく取り組む工夫も…。当分の間、体育のある日は疲れると思いますので家庭でのケアもよろしくお願いします。



間隔をあけて
運動を進めます

【音楽】音楽なのに歌うことは駄目。口にくわえる楽器演奏も駄目。飛沫感染対策が優先されての授業をするには、「聴く」授業が中心です。リズム、音、音色、曲など。聴く他には、手拍子や体を使つてのリズム演奏、音符の確認、



手拍子でリズム練習

リコーダーや鍵盤ハーモニカの指使いの練習、木琴等の打楽器演奏、手話表現の練習等々。歌わない授業の工夫も大変そうです。音楽もまた楽しく取り組める工夫を凝らして



音楽室一杯に席を配置

…。子ども達全員で歌う場面が多い音楽の授業では、歌うことはもうしばらく我慢が続きそうです。

■次号は、理科と外国語の授業の様子を紹介します。



発育測定や聴力検査等が始まりました



★4月の中旬に実施予定だった「発育測定」や「各種検査」。休校で延びていましたが、間隔を十分とる対策をして今週から実施することとしました。今日からスタート。検査によっては来週も続きます。ゆったりと1時間かけて計測します。狭い保健室ではなく、低学年棟の広い「多目的室」で行います。コロナ対策で、できるだけ喋らないことを優先して、挨拶はなしです。もちろん待っているときや教室の移動時も喋りません。前年度からの身体の成長を実感して下さい。発育測定は体育着です。忘れずに。



こうちやうのひとりごと



植木の剪定は
堀米さんにおまかせ

■学校には「植木」がたくさんあります。大きな樹木の剪定は町内の「植木屋さん」に毎年してもらいます。ですが、ツゲやツツジなどの低木は、公士の堀米さんが剪定しています。中庭の芝生の手入れも堀米さんです。雑草も抜いてくれています。日々、学校の至る所の環境整美をして下さっています。学校がいつも綺麗であるのは、ちゃんとやってくれる人がいるからなのですね。もちろん、校舎内外の修繕も…。大きな校庭と校舎が綺麗なのは、日々の仕事をしてくださっているお陰なのですね。堀米さんに感謝しましょう。

■毎年、全校朝礼や入学説明会で、「学校に来ることは、子ども達の仕事です。」と話をしています。大人はお仕事をしてお給料をもらったりお金を稼いだりして、家族を養っています。だからお仕事を頑張っています。では、子ども達のお仕事って何でしょう。それは、「学校に行って、勉強や運動などの学校生活を頑張ることです。」お給料はないけれど、頑張れば頑張っただけ成長します。できることもどんどん増えます。子ども達はちゃんと自分の成長を実感できるはず。コロナ対応で長い間学校に来れない状況でしたが、学校に来ている今を頑張りたいです。